

死の準備

柴田由紀子

総会ではたくさんの方が安江先生に会いに来て
くださいました。

◎ 死を前提に生きる

◎ 知る義務

◎ spiritual care

◎ 死ぬ権利

「死の準備」について

重いテーマでしたが先生のお話は一貫してすべてを楽しんでおられる姿でした。自分の人生を生ききればその先の死は怖いものではなく、まるで自然の中に戻っていくかのようでした。

今までの体験を柔らかく話してください、笑いの中にも真髓があり、それぞれがいろいろな思いを持ち帰りました。私自身、これからの人生で何を選択したらいいのかを考えさせられました、結局はホスピスケアを考える会のテーマ通り、今を大切に生きていけば人生山あり谷ありでも、きつと最期にはいい人生だったねと笑いながら言ってるように思います。

そして、ふと気付いた時に死の準備は終わってるのかもしれない。

今日と言う日が素敵な一日でありますように。



顧問安江満吾先生顧問のお話「死の準備」 2024 年 4 月 6 日 総会後

【感想文より】

★安江先生は、私にとって最先端をつきすすむ先生で、今現在の私自身の保健医療福祉の活動の礎となっています。中津川の神童、時代の寵児（ちょうじ）、色川の仙人、そして天国への道先案内人。

今回、受講の機会をいただくことができ大変光栄でした。ありがとうございました。

○ぜひまた、このような安江先生の講演会の開催をよろしくお願いします。

★数 10 年前に死の準備教育でお目にかかって以来です。

先生の状況はずい分変わられましたね。私の人生も大いに変わりました。

これが時(人生)の流れでしょうか、しみじみしました。

今日は現実的な良い時間を過ごせました。

死は暗くはなく、今からでも自分の人生を自分で築き、自分で閉じる覚悟ができました。もちろんこの会の皆様、家族、友人、先祖・たくさんの方々のおかげです。

○皆様が最期にどんな living will をお持ちか、知りたい。匿名で募集して会報に載せてほしい。

★自分を使い切って 後悔なく 死を迎えたいと思いました。

★長年会に出席できず、安江先生のお顔も知らなかったのですが、今回は是非、お話しを聞きたいと思ったテーマでしたので参加させて頂きました。

先生のお話はそのお人柄がよく判る楽しい中にも人が必ず通る「死を迎えるための準備」をテーマとしたお話しが聞けてとても良かったです。特に空を眺める時、神様を感じる。この年になって自分という者がちっぽけなっていると感じるなど共感できるお言葉が多くありました。

これからは死ぬ時に思い残すことの無いようにしたいと思いました。

★安江先生にお会いできてとても嬉しいです。

春になって桜が咲くと「もう1年生きれる」と思うと言われました。20数年前に私も乳ガンになり、毎年春を数えてまいりました。

人間も大自然の中の1部でやがて死ぬことも感じました。神さまは自然の中(空に森)にいると感じること——スピリチュアルケアなんですね。自然に死にたいです。身体は神様からの借り物、年取ったら神様に返す。いつか又、天国でお会いしたいです。今日はありがとうございました。○本日は開始時間に来れなくて、それでもあたたかく、途中から会場に入れていただき、ありがとうございました。来て良かったです。

★先生のお話を聴き、死を意識しないで生きている自分に気づかされました。

そして死を意識することが、今！どうやって生きるか！過ごすか！ということにつながってくるのだと思い、今生きていることを大切にしたいと思います。また医師である先生が医師としての経験など率直に気持ちを話してくださってとても楽しい時間でした。



★医師としての先生の生き様をお聞きし、退職後の生き方 etc ありがとうございました。

私も今年退職を迎えます(75才)

昨年乳ガンの手術を受け、生きるのと死ぬることの覚悟が出来ました。

心配してくれていた姉に最近耳下腫ようにてステージ4がみつかりました。

自分のことの方がよほど楽ですが今日のお話の中で、

自然の産物であることを思うと最終ありがとう！と笑顔で(?)迎えたいものです。

「死ぬ権利」も明白に言葉として伝えて頂き、かみしめて日々を重ねます。

★安江先生のお話し、時を忘れて楽しく聞かせていただきました。「死ぬ権利」とも考えさせられました。ありがとうございました。またぜひ話しを聞かせていただきたいと思いますと切に思います。

★大きな病気を繰り返して、元気になられて良かったです。

死について自分なりに考えていきたいです。

★安江先生の遺言を読んで自分の遺言の参考にさせていただきたいと思いました。

「苦しまずに死ぬ権利を行使する」

これをみんなができる世の中になるといいなと思いました。

★久しぶりに皆さんにお会いできてうれしかったです。

安江先生にお逢いできうれしかったです。現在、ガンの治療しつつ患者さんの気持ちを話されて、放射線のこと、ホルモン治療、自分の経験あり医師として1人の患者として経験した事、現実細かい事をお話されて私ももう少し世の中にいたいです。がんばって前進いたします。先生ありがとうございました。感謝

★とても楽しいご講演ありがとうございました。先生の田舎での生活、とてもすてきですね。旅行の話や愛知病院での話、たいへん楽しく聞かせていただきました。どうぞ、お体大切に長生きしていただきたいです。私も自分らしい人生をあゆんでいきたいと思います。

★先生の安江節が聞かれて、とても嬉しかったです。多くの病気をかかえてみえるのに、明るく楽しい、昔のままの安江先生でした。本当にありがとうございました。



★久しぶりに皆様のお顔を見ることが出来、嬉しかったです。

安江先生のお話はとても楽しく自分のこれからの生きていく道の参考になりました。

★安江先生の人生はいろいろあって、おもしろくて、沢山笑わせて頂き、先生の病気のお話もお聞き出来て良かったです。

★死ぬ権利の文章を利用させていただき、この世を去りたいと思います。
死は当たり前です心配することはありません。ありがとうございました。

★いつもの安江節を聞けて心もほっとしました。
この会を長く続けてこられたのは、先生の見守りがあったからだと思います。

★思いのこすことのない様に・・・というお話、65才を迎える私、もうやる事なく死を思っていたけれど・・・まだこれから、いろいろ挑戦していける様に。
○運営委員の皆様ありがとうございました。

★85歳の安江先生のお話、ユーモアもありとても貴重な時間でした。
80過ぎても治療を頑張り、自分の命、生と死に向きあう姿勢に勇気を頂きました。
1日1日大切に生きることに感謝して今年も総会に出席出来て良かったです。



★先生の教養、ユーモアにとんだ、それでいて人間味にあふれたお話しがきけて、うれしかったです。

今日は遠い所、お越し下さり、立ったままお話し下さり、お若いなぁと思いました。

これからもお身体お大切になさってお元気でお過ごし下さいませ。

★安江先生、身体的にいろいろあっても精神的にお元気でおられたこと、嬉しく拝見しておりました。(思いのほかお若いのでビックリ)Spiritual careのお話、特に心強く習いたと思います。
★楽しい事をたくさんやって改めて自分の生活環境を考えてみたいと思いました。
★安江先生の人生はいろいろあって、おもしろくて、たくさん笑わせていただきました。
先生の病気のお話もお聞き出来て良かったです。

★安江先生のお話を聞きたく参加しましたが、たくさんの参加者にびっくり、同じ思いの人ばかり。話も楽しく本当にありがとうございました。

★テーマである「いい人生だったね」と云える日々を送りたいと思いつつ、忘れがちなこの頃ですが「死の準備」を考え、やはり「悔いのない人生を送りたい」と改めて思いました。
○次は座談会のような形で安江先生を囲んでいろんな話が出来たら嬉しいです。
○お若い時に、安江先生が話されていた「死の準備教育」を聞いてみたいです。

★岡崎ホスピスケアを考える会が発足した26年前、安江先生の講演は「死の準備教育」でした。一貫して変わらないテーマ。今回は死を目前に感じられてか「教育」を外した「死の準備」。岡崎までの道中お疲れだったでしょうに、1時間半立って動いて一人ひとりに目を合わせるように語りかけて下さいました。
「自己を大自然の一部と考えれば、神の存在を確信し死を恐れることはなくなる」と。感動しました。いつも会員のために潔く送りだして下さる、奥さまの大きな愛に感謝しています。

勉強会 いのちを見つめて「死を語ろうⅣ」6月1日
話し合う前に3つの約束をしました。

1. 指導や否定をしない
2. 相手の話は最後まで聞く
3. ここでの話は他では話さない



【感想文より】

★人と顔を合わせて話ができる、その場所がある、大切にしていきたい事です。人とのつながりがこれから、もっと大事になる、そんなお話をたくさん聞かせて頂きました。



★心にあった想いを皆さんに聞いていただだけ、とても癒やされました。私自身、いつピコロしても「ああ良い人生だった！」と、天国で笑えるよう一日一日を感謝と喜びを感じながら過ごしていきたいと思いました。たくさんの気づきをいただいた、素晴らしい時間でした。ありがとうございました。○クッキーがとてもおいしかったです。お花も可愛く癒やされました。

★それぞれ毎日普通の会話をしている仲間たちが、テーマを与えられたことで、今まで話したことのない深い話ができることが嬉しかった。やがて必ず体験する、死について、又、亡くなった人たちについての話ができる事は、ホスピスケアの原点だと感じました。
○一年に一度はこのテーマをください。

★母は加齢の物忘れとと思っていましたが、ひょっとしたら認知症かもとお話を聞いて、検査しようと思いました。私たちが後期高齢者になる頃は、2人に1人が100歳と言われているので、最期まで自分で歩ける体力作りに励みたいです。

★皆さんの話が聞けて良かった。〇〇さんのお話を聞いて、覚悟ができていての方と感心しました。自分の死より、今は先に逝った人のかたづけをすることが先になっている。こういった機会があると、また考えることが出来て良いと思いました。一日一日をもっと大切にしたいと思った今日のこの時間でした。

○準備、いろんな気遣いをありがとうございました。



★誰にでもくる“死”いつか分からないと思いながら、皆さんの体験を伺って、今後の暮らし方に参考としていこうと思いました。無理をせず、食事は三色とり、睡眠もきちんと取っていききたいと改めて考えました。

★家族の話から、現在の自分の問題まで、話題にすることが出来ました。歳を重ねることで生まれる身

体的な問題も自分の中の課題としてあると感じました。高齢の家族の今後についても話が出来ました。

★皆さんの介護経験の話をいろいろ聴かせて頂き、上手に福祉サービスを利用することや、自分が少しでも良い状態で過ごすことを心がけること、歩いたり、ストレッチをする事をこれからも意識したいなと思いました。安心して話しができる場があるというのはいいですね。

○終了後聞いた防災の話、2階に非常食は置いてないので、早速やってみようかなと思いました。

★命にかぎりがある事はわかっているのに考えることを先のばしにしている自分に、今日の話し合いで「今を大切に感謝して生きる」こんな当たり前を再確認することが出来た。

★病気をされながら、毎日を精力的に過ごして、なおかつ、ボランティア活動している方のお話は、こうでありたいと思えるものでした。外に出て話しをし、笑うことが大切であると思いました。



アロママッサージの報告

社会福祉センター

第1水曜日 1:00~3:00 誰でも参加OK タオル2本 材料費300円

アロマの香りと手の温もりに皆なで癒され合いながら、毎月マッサージの練習をしています。まずアロマと手当てについて簡単に説明をさせていただくので、初めての方でも安心です。身体や心の状態を確認し、お好みに合わせてたくさんのアロマの中からブレンドしていきます。

普段の生活にも活かしていただけるような情報もお伝えできたらと思っています。

羽田小百合



ピアノ演奏のある金曜日

優しい音色が奏でられると患者さんがベッドや車椅子でラウンジに集まって来ます。指揮者のように手を振る人、リクエストされる人、ご家族と同じ時間を共有される人。一曲一曲に拍手が送られ、涙を流しながら聴いていらっしゃる方も。すやすや眠られる方も。みなさんが一緒に同じ音楽で癒されるように 私たちも穏やかな気持ちを頂いています。

柴田由紀子



“つどい”の報告

患者・家族・遺族（誰もが遺族）の集まり

第4木曜日 10:00～12:00 社会福祉センター（第2活動B室）

心もからだも元気になるために、今すぐできること。それは「感謝すること」です。感謝すると、幸せホルモン（オキシトシン）がたくさん分泌されます。今日一日を振り返り感謝できることをリストアップしてみましょう。

“美味しいごはん” “美しい夕日” “楽しい会話”

ささいな幸せでかまいません。家族や友人に感謝を伝えましょう。感謝の手紙やメールを送ることもできます。そうすれば感謝する側もされる側もオキシトシンの分泌が活性化されます。感謝することを習慣にするなら、人間関係が豊かになり、みんなの心とからだの健康が向上します。感謝をしましょう。

動画「感謝の習慣」より

“つどい”はいつも通り開催しています。ご参加お待ちしております。

神尾弘美

“手縫い”の報告

岡崎市民病院・国際病院・施設などへ依頼された品を作り届ける。

第2月曜日 10:00～12:00 カトリック岡崎教会



とある日、市民病院の皮膚科の待合室にいと、病棟から寝たままの患者さんを乗せたベッドが看護師さんと共に目の前を過ぎました。ベッドの脇にはむき出しの尿袋がかかっていた。この尿袋にカバーがあったら良いのになと思いました。月一度の手縫いの集まりでは、雑巾、清拭布、使い捨てのモップ布など作っているの、依頼さえあればすぐに作れる体制にあるのに残念でなりません。

加藤典子

あとがき

今 2001 年に作った「私のたまたま箱」を改訂しています。安江満吾先生が書かれた遺言書は先生の医療の意思表示書と家族への想いです。それを書くには「私のたまたま箱」14 ページの「終末期における意思表示書」を具体的に知る必要があります。気管切開・気管内挿管・経鼻経管栄養・IVH・胃瘻・・・とはどういうことかを安江満吾先生に教えていただく勉強会を、10月5日と11月9日に計画しています。自分ではっきりわかり・する・しないを選択でき、意思表示ができるようにしたいと思います。

1 月 19 日には法的遺言書（財産をどのように分配するか）の書き方を弁護士から学びます。どちらの勉強会も「私のたまたま箱」をお持ち下さい。ない方は準備します。

年3回の勉強会の計画が、もっと多くなりますことのお知らせします。

橋詰清子